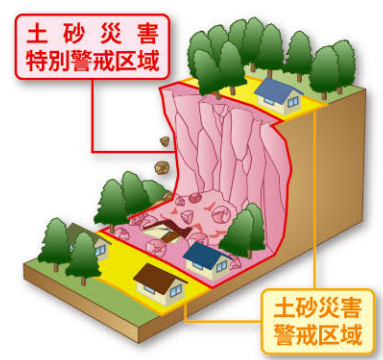


土砂災害の種類

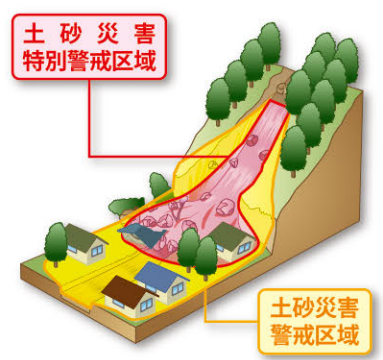
土砂災害は、すさまじい破壊力を持つ土砂が、一瞬にして多くの人命や住宅などの財産を奪ってしまう恐ろしい災害です。土砂災害から身を守るために、ハザードマップで自分が住んでいる場所の周辺で土砂災害発生可能性がある場所を確認しましょう。

急傾斜地の崩壊



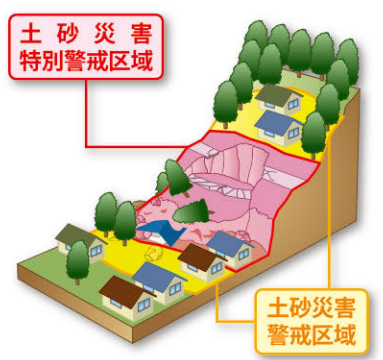
- 雨で地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、斜面が突然崩れ落ちる。
- 前ぶれもなく突然起こることが多く、スピードも速いため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人が多く死者の割合も高くなる。
- 地震が原因で起きることもある。

土石流



- 大量の土・石・砂などが集中豪雨などの大量の水と混じりあって、津波のように出てくる。
- 流れの先端部に大きな石があることが多いため、破壊力も大きくスピードも速いので悲惨な被害を及ぼす。

地すべり



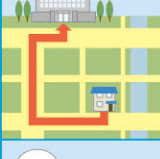
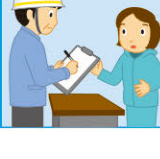
- 粘土などのすべりやすい層を境に、その地面がそっくりズルズル動き出す。
- 地割れで田畑や家が壊されたり、押し出された土砂や地面の移動のために、道路や建物が広い範囲で被害を受ける。

土砂災害警戒区域 土砂災害が発生するおそれがあり、発生した場合、住民に危害が生じるおそれがある区域。

土砂災害特別警戒区域 土砂災害警戒区域のうち、土砂災害が発生した場合に建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域。

避難の心得

いざという時のために、日頃から避難に必要なものを整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。また、災害の危険性が想定された場合には、情報を入手して、早めの避難を心がけましょう。

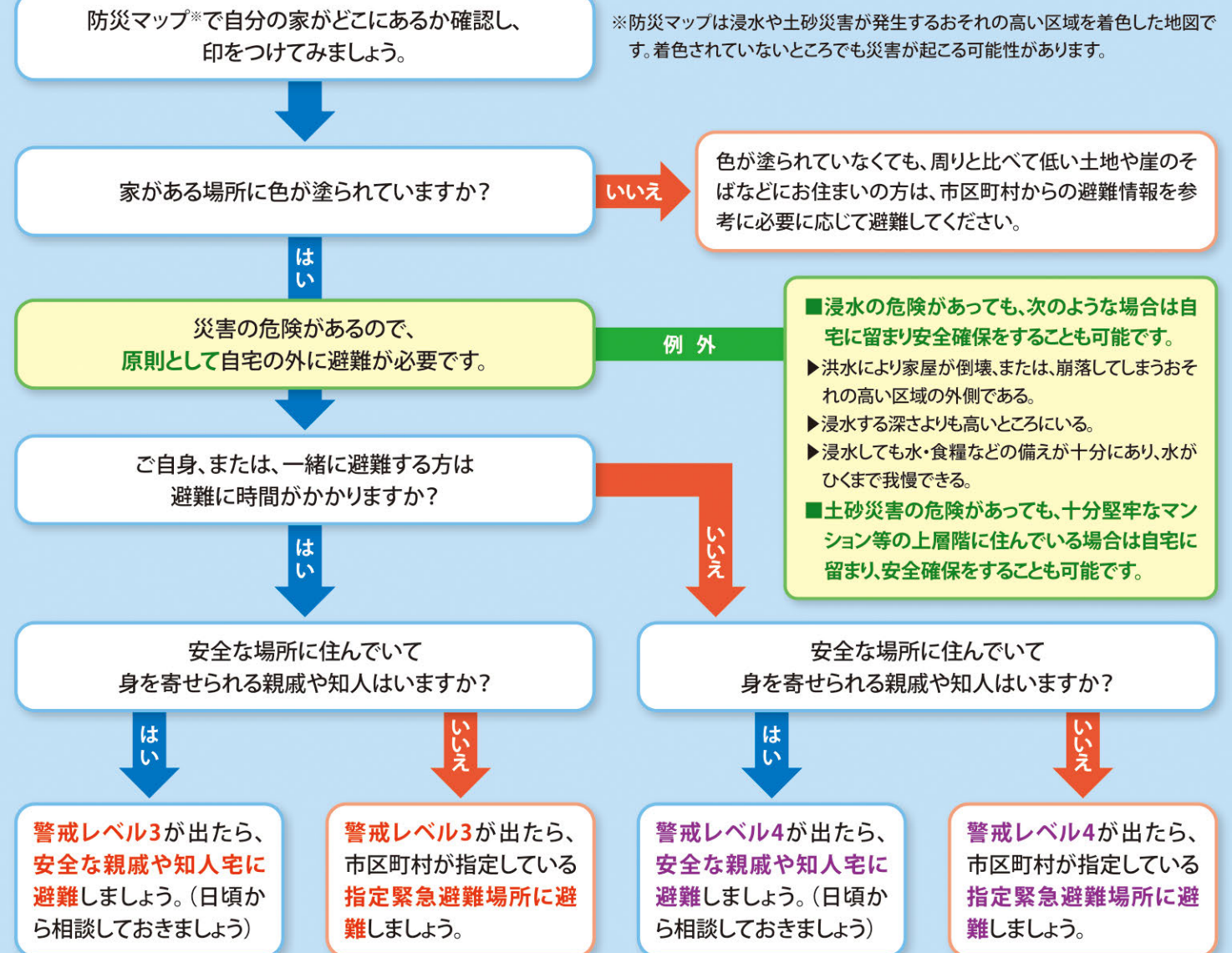
	状況により、すばやく避難しましょう 避難の準備を心がけ、市からの指示があれば、すばやく避難しましょう。		外出中の家族には連絡メモを残そう 「どこどこへ避難する」といったようなメモを残しておくといいでしょう。
	防災メモを持とう 特に高齢者や子どもは、事前に住所、氏名、連絡先などを記載したメモを用意し、身につけて避難しましょう。		集団で避難しましょう 単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。
	浸水時、自動車での避難は危険 普通自動車は約30cmの浸水で走行困難になります。浸水時、自動車での避難は危険です。		安全なルートで避難しましょう 川べり、地下歩道などは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。
	持ち出し品は最小限に 非常持ち出し品はリュックサックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。		避難所では係の人の指示に従いましょう 指定避難所に着いたら、住所、氏名などを報告しましょう。

避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は？

「避難行動判定フロー」を「野洲市防災マップ」と合わせて確認し、居住する地域の災害リスクや住宅の条件などを考慮した上で、とるべき避難行動や適切な避難先を確認しておきましょう。

平時に確認



水平避難と垂直避難

災害では早めの避難が重要です。ただし、すでに避難経路が浸水しているなど、危険が間近に迫っている状況での無理な避難行動はできるだけ避けなければいけません。そのような場合は、避難場所への移動(水平避難)だけでなく、近隣の高い建物や自宅の2階といった高い場所への移動(垂直避難)を行い、救助を待つという判断も必要です。また、土砂災害の危険性がある地区では、屋内でも山と反対側に避難を行うことも必要です。

